

# 真庭市はSDGs未来社市

真庭市はSDGsの理念に基づき、多彩な真庭の豊かな生活「真庭ライフスタイル」を実現するための取り組みを進めていきます。

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



2030年に向けて  
世界が合意した  
「持続可能な開発目標」です



## MANIWA ECO & CLEAN

### 考えよう、真庭の未来。持続可能なごみの処理。

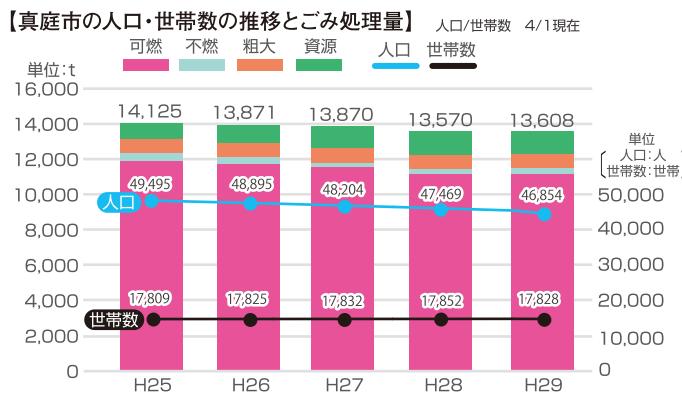
ごみの減量、資源化で「持続可能なごみ処理のしくみ」をいっしょに考えていきましょう

真庭市では、平成27年度に策定した「真庭市一般廃棄物資源化等基本計画」で廃棄物排出抑制と資源化等を掲げ、循環型のまちづくりを目指しています。現在、生ごみ等資源化事業の推進、新たな一般廃棄物最終処分場の整備検討などごみ処理のしくみの大きな転機を迎えていきます。SDGsの理念とともに、「持続可能な廃棄物処理のしくみ」を市民のみなさんと一緒に考えていきます。

## 1 真庭のごみを知ろう！

### なぜ？人口は減っているけど、ごみは減ってない

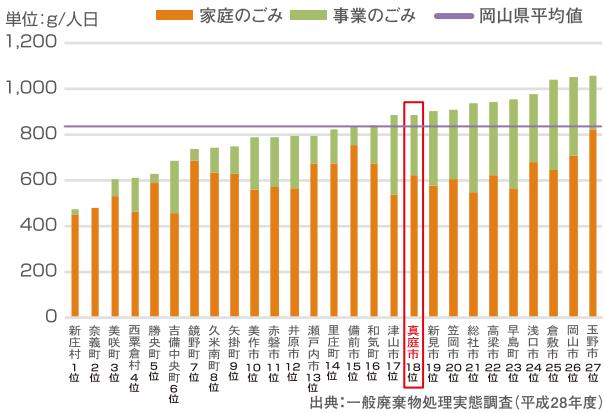
人口は減り続けていますが、ごみはあまり減っていません。世帯数はほぼ横ばいです。  
ごみのほとんどは「燃えるごみ」です。



### 真庭市民はごみをたくさん出している？

真庭市の1人1日当たりのごみ排出量は888グラム。  
岡山県内の市町村の中では多いほうです。

【1人1日当たりのごみ排出量の県内自治体との比較】



## 2

# 真庭のごみ処理のしくみは？

## 真庭市のごみ処理施設

市内には3つのクリーンセンターと2か所の最終処分場があります。ごみを減らせばクリーンセンターを集約することができます。

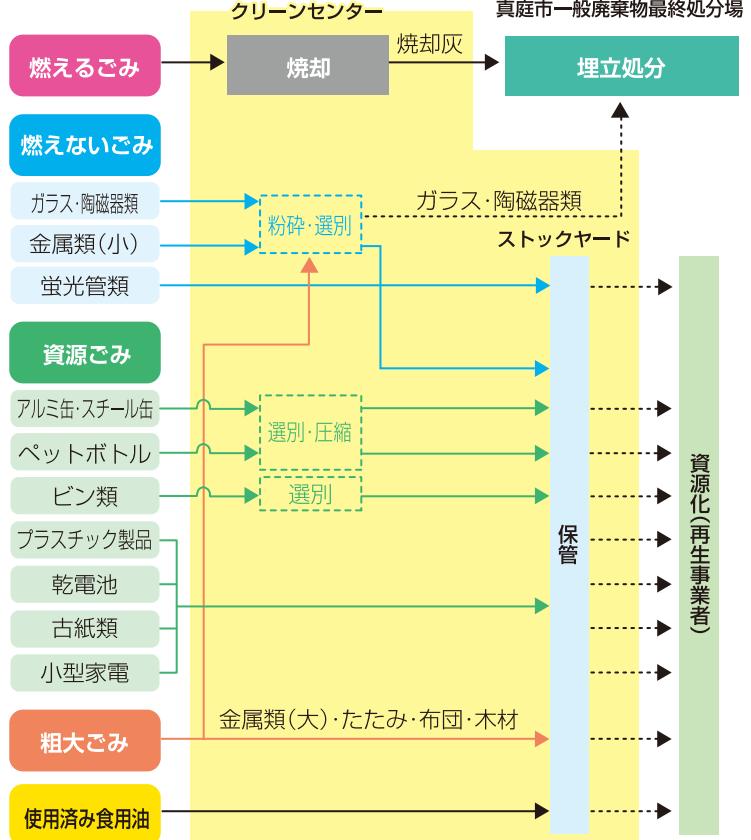


## ごみ処理の流れ

(クリーンセンターまにわの場合)

燃えるごみは、クリーンセンターで焼却します。焼却灰は、粉碎したガラス陶磁器類と一緒に最終処分場へ埋め立てます。

資源ごみは選別・圧縮などして再生事業者へ売却するか有償で引き取ってもらっています。



## 真庭市一般廃棄物最終処分場の現状

真庭市には2つの一般廃棄物最終処分場がありますが、1か所（大山最終処分場）は埋め立てを終了し、コスマスクリーンセンター、真庭北部クリーンセンターからの焼却灰などは県外の民間処分場に処理を委託しています。

真庭市一般廃棄物最終処分場も残容量が少なくなり、あと数年で満杯になります。

自分たちで出したごみを最後まで責任を持って処分することや、災害時のリスクなどに備えて、真庭市での新たな一般廃棄物最終処分場の整備を検討しています。

平成29年度  
現在残容量 **6,586m³**

最大容量 **29,500m³**



## 3 これからの真庭のごみ処理

### ごみを減らし、活かす。

「燃えるごみ」の多くを占める「生ごみ」を分別し、し尿・浄化槽汚泥とメタン発酵させ「液肥」や「メタンガス」にし、資源として活かします。「燃えるごみ」を減らすことにより、クリーンセンターを集約して「ごみ処理コスト」を削減します。

現在、「生ごみ等を資源化する」施設の建設に向け取り組んでおり、2023年度の稼動を目指しています。



### 施設の統合で効率的に



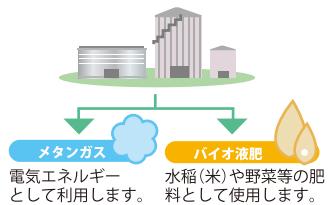
### 処理から資源化へ

#### 生ごみとし尿・浄化槽汚泥を資源に

燃やして処理していた「生ごみ」と、し尿処理場で水処理していた「し尿・浄化槽汚泥」を資源として活かします。

生ごみ、し尿・浄化槽汚泥を混ぜ合わせてメタン発酵させ「液体肥料」と「メタンガス」に変えます。

「液体肥料」はお米や野菜作りに、「メタンガス」は発電の燃料として活用できます。



#### クリーンセンターを集約

「生ごみ」を燃えるごみではなく分別して収集し、燃やすごみの量を少なくします。燃やすごみを減らすことで、3つのクリーンセンターを1つに集約できます。

